

東睦合地区有機稲作協議会（三重県津市）

構成員：株式会社つじ農園、三重県津地域農業改良普及センター

背景・課題

津市大里睦合町地区では、つじ農園を中心に有機農業とドローンを活用したスマート農業の導入・実践をしている。

現在、有機栽培米と特別栽培米を2haずつ生産しているが、市場からの需要が大きく生産量が不足しているため、有機栽培の収量や面積を増やすことが必要となっている。



位置図

みどり戦略実現に向けて

水稲における有機栽培の収量・面積を増大するため以下を実施する。

- ① 入手が容易な有機資材及び有機質肥料を使用した収量の確保
- ② 稲の初期成育を確保するための効果的で小労力な水田内除草
- ③ 有機JASの要求に対応できる圃場管理体制の構築

これらの取組を踏まえ、地域モデルとなる有機農業の栽培マニュアルを策定し、若手水稲生産者への普及を目指す。



環境負荷低減の取組

○水稲における有機栽培の拡大

検討するグリーンな栽培体系

- ① 化学肥料の使用量低減：堆肥等を活用した土づくり（地元畜産農家と連携）
- ② 化学肥料の使用量低減、省力化：ドローンセンシングによる施肥マップの作成
- ③ 化学農薬の使用量低減、省力化：ラジコン除草機や乗用の水田除草機の導入による除草作業時間の削減
- ④ 省力化：営農管理システムの導入による有機JAS規格に対応したほ場管理の効率化

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	育苗	田植え	本田管理			収穫						
		①		②			①					
			③									
							④					

①堆肥等を活用した土づくり



②ドローンセンシングによる施肥マップ作成



③ラジコン除草機等の導入



④営農管理システムの導入



問い合わせ先

株式会社つじ農園

電話 059-202-2205

メールアドレス info@tarafuku.org